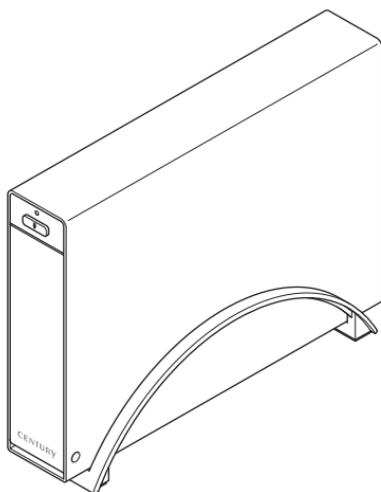


裸族の一戸建て スーパーコンボ SATA6G

CRIS35EUF6G 取扱説明書



CENTURY

もくじ

ごあいさつ 4

はじめに 5

- 安全上のご注意 5
- 制限事項 10
- ご使用前に 10

製品仕様 12

- 本体仕様 12
- 対応HDD 13
- 対応OS 13
- 対応機種 14
 - USB接続 14
 - eSATA接続 15
 - FireWire接続 15

製品内容 16

- セット内容の確認 16

各部の名称 17

HDDの取り付け方法 18

- HDD接続の前に 18
- HDDの取り付け方 20

スタンドの取り付け・取り外し方法 24

PCとの接続方法 26

- 接続図..... 26

電源の投入方法 27

- 電源のオン・オフ..... 27

FireWire機器をディジーチェーンする際のご注意 28

- データ転送中のFireWire機器の取り扱いについて..... 28
- ディジーチェーン時の転送速度について 29

PC電源連動機能について 30

トラブルシューティング 32

FAQ 38

巻末付録

巻末付録1

- 領域の確保とフォーマット..... 巻末付録2
- ハードウェアの取り外し手順..... 巻末付録8
- Mac OS での使用方法 巻末付録10
- サポートのご案内..... 巻末付録14

ごあいさつ

このたびは本製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
本書には、重要な注意事項や本製品のお取り扱い方法が記載されています。
ご使用になる前に本書をよくお読みのうえ、本製品を正しく安全にお使い
ください。

また、お読みになった後も大切に保管し、必要に応じてご活用ください。

はじめに

安全上のご注意 〈必ず守っていただくようお願いいたします〉

- ご使用前に、安全上のご注意をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
 - この項に記載しております注意事項、警告表示には、使用者や第三者への肉体的危害や財産への損害を未然に防ぐ内容を含んでおりますので、必ずご理解のうえ、守っていただくようお願いいたします。
- 次の表示区分に関しましては、表示内容を守らなかった場合に生じる危害、または損害程度を表します。

 警告	この表示で記載された文章を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性を想定した内容を示します。
 注意	この表示で記載された文章を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害ないし物的損害を負う可能性を想定した内容を示します。

 注意指示事項	 禁止(禁止行為)
 分解禁止	 濡れた手での接触禁止
 水濡れ禁止	 電源プラグを抜く
 接触禁止	 ケガに注意

はじめに

安全上のご注意 (必ず守っていただくようお願いいたします)

警告



煙が出る、異臭がする、異音がする場合は使用しない

煙が出る、異臭がする、異音がするときは、すぐに機器の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

異常状態のまま使用すると、故障、火災、感電の原因となります。



機器の分解、改造をしない

機器の分解、改造をしないでください。

内部に手を触れると、故障、火災、感電の原因となります。

点検、調整、修理は、弊社サポートセンターまでご連絡ください。



機器の内部に異物や水を入れない

機器の内部に異物や水が入った場合は、すぐに機器の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

異物が入ったまま使用すると、故障、火災、感電の原因となります。



不安定な場所に機器を置かない

ぐらついた台の上や傾いた場所、不安定な場所に機器を置かないでください。

落ちたり、倒れたりして、故障、けがの原因になることがあります。



電源の指定許容範囲を超えて使わない

機器指定の電圧許容範囲を必ず守ってください。

定格を越えた電圧での使用は、故障、火災、感電の原因となります。

 **警告****電源コード、接続コードに関する注意事項**

以下の注意点を守ってご使用ください。

被膜が損傷したり、故障を招くだけでなく、ショートや断線で加熱して、火災、感電の原因になることがあります。

- 電源コードを無理に曲げる、ねじる、束ねる、はさむなどの行為をしないでください。
- コードの上に機器本体や重い物を置かないでください。
- ステープル、釘などで固定しないでください。
- 足を引っかけるおそれのある場所には設置しないでください。
- 電源プラグはホコリや水滴がついていないことを確認し、根元までしっかり差し込んでください。
- ぐらぐらするコンセントには接続しないでください。

**雷が鳴り出したら機器に触れない**

雷が発生しそうなときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

また、雷が鳴りだしたら電源コードやケーブル、機器に触れないでください。感電の原因となります。

**ぬれた手で機器に触れない**

ぬれたままの手で機器に触れないでください。感電や故障の原因になります。

**体に異変が出たら使用しない**

体に異変が出た場合は、ただちに使用をやめて、医師にご相談ください。

機器に使用されている塗料や金属などによって、かゆみやアレルギーなどの症状が引き起こされることがあります。

安全上のご注意 (必ず守っていただくようお願いいたします)

注意



設置場所に関する注意事項

以下のような場所には機器を置かないでください。故障、火災、感電の原因となります。

- 台所、ガスレンジ、フライヤーの近くなど油煙がつきやすいところ
- 浴室、温室、台所など、湿度の高いところ、雨や水しぶきのかかるところ
- 常に5℃以下になる低温なところや40℃以上の高温になるところ
- 火花があたるところや、高温度の熱源、炎が近いところ
- 有機溶剤を使用しているところ、腐食性ガスのあるところ、潮風があたるところ
- 金属粉、研削材、小麦粉、化学調味料、紙屑、木材チップ、セメントなどの粉塵、ほこりが多いところ
- 機械加工工場など、切削油または研削油が立ち込めるところ
- 食品工場、調理場など、油、酢、揮発したアルコールが立ち込めるところ
- 直射日光のあたるところ

 **注意****長期間使用しない場合は接続コードを外してください**

長期間使用しない場合は、安全および節電のため、接続コードを外して保管してください。

**機器を移動するときは接続コード類をすべて外してください**

移動する際は、必ず接続コードを外して行ってください。
接続したままの移動は故障の原因となります。

**小さいお子様を近づけない**

小さいお子様を機器に近づけないようにしてください。



小さな部品の誤飲や、お子様が機器に乗ってしまうなど、けがの原因になることがあります。

**静電気にご注意ください**

機器に触れる際は、静電気にご注意ください。

本製品は精密電子機器ですので、静電気を与えると誤動作や故障の原因となります。

はじめに

制限事項

- 本製品を使用することによって生じた、直接・間接の損害、データの消失等については、弊社では一切その責を負いません。
- 本製品は、医療機器、原子力機器、航空宇宙機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備、機器での使用は意図されておりません。
このような環境下での使用に関しては一切の責任を負いません。
- ラジオやテレビ、オーディオ機器の近くでは誤動作することがあります。
必ず離してご使用ください。
- 本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内での使用を前提としており、日本国外で使用された場合の責任は負いかねます。
- 本製品は3.5インチシリアルATA HDD専用です。
パラレルATA(IDE)は使用できません。

ご使用の前に

- 本書の内容に関しましては、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書は万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点や誤りなどお気づきのことがありましたら、弊社サポートセンターまでご連絡いただきますようお願いいたします。
- 本製品を使用することによって生じた、直接・間接の損害、データの消失等については、弊社では一切その責を負いません。
- Windows は Microsoft Corporation の登録商標です。
- Mac は Apple Inc. の登録商標です。
- 記載の各商品、および製品、社名は各社の商標ならびに登録商標です。
- イラストと実際の商品とは異なる場合があります。
- 改良のため、予告なく仕様を変更することがあります。

SATA HDDの取り扱いについて

- 本製品はHDDをむき出しのまま使用する製品です。
本来、ケースなどに内蔵して使用するHDDを露出したまま通電させることになりま
すので、感電等の事故、およびHDDへのほこりや水分等の付着には十分ご注意ください。
また、静電気も機器を破壊する原因となりますので、HDDの取り扱い時には静電気防
止バンド等を用いて、故障の防止に努めてください。
- SATA HDDの接続コネクタにはメーカーの推奨するHDDの着脱保証回数が設定されて
おります。
この回数を超えるとHDDとしての品質を保証できませんので、着脱する回数は必要最小限
にてご使用ください。
また、本製品の構造上、HDDに擦り傷が付く場合があります。あらかじめご了承ください。

本製品からのOS起動に関して

本製品からのOS起動は、eSATA接続時のみ対応しています。USBまたはFireWire接続時
のOS起動はサポートしておりません。
eSATA接続時のOS起動に関してはeSATAホストカードの取扱説明書をご確認ください。

※製品の性質上、すべての環境、組み合わせでの動作を保証するものではありません。

裸族坊やセンちゃんからのお願い

裸族シリーズは、内蔵用HDDを手軽に使用することを想定して
作られています。

しかし、内蔵用HDDは本来とてもデリケートな精密機器です。
特に静電気はHDDの大敵なので、必ず静電気の除去作業を行って
からHDDを取り扱うようお願いいたします。

また、HDDを保管するときは高温多湿、ホコリの多い場所を避け、
静電気防止袋等をご使用の上、大切に保管していただくようお願い
いたします。

デリケートな
裸族を
守るのう!



製品仕様

本体仕様

※本製品にHDDは含まれておりません。

- 型番：CRIS35EUF6G
- 商品名：裸族の一戸建てスーパーコンボ SATA6G
- インターフェイス
 - デバイス側：SATA I/II/3.0/1.5Gbps/3.0Gbps/6Gbps
 - ホスト側：USB3.0(UASP対応)/IEEE1394a/IEEE1394b/eSATA
- USBコネクタ形状：Standard Bタイプ
- 重量：約550g(ドライブ、スタンド含まず)
- 寸法：幅38mm×高さ145mm×奥行202mm
(突起部、スタンド含まず)
- 温度・湿度：温度5～35℃・湿度20～80%
(結露しないこと、接続するPCの動作範囲内であること)
- ACアダプター仕様：【AC入力】100-240V 【DC出力】12V/2.5A

対応HDD

• 1インチ厚の3.5" SATA HDD

(SATA I/II/3.0/1.5Gbps/3.0Gbps/6Gbps)

※本製品はSATA 6GbpsのSATA HDDが接続可能ですが、インターフェイス側がUSB3.0またはFireWire 400/800のため、転送速度はそれぞれのインターフェイスの上限速度となります。

※PATA (IDE)HDDは接続できません。

※6TBまでのHDDで動作確認を行っております(2015年1月現在)。
対応HDDの最新情報はサポートセンターにお問い合わせください。

※SAS (Serial Attached SCSI)HDDは使用できません。

※本製品の構造上、1インチ厚より薄いタイプのHDDは組み込みが困難になりますので使用しないでください。

※eSATA接続で2TB以上の容量のHDDを使用する場合、eSATAホストが2TB以上の容量のHDDに対応している必要があります。

対応OS

■Windows

• Windows 8(8.1)/Windows 7/Windows Vista

※上記以外のOSでは動作しません。

※Windows RT、Starter Edition、Embeddedは動作対象外となります。

※Windows Updateにて最新の状態(Service Pack含む)にてご使用ください。

最新ではない環境での動作はサポート対象外となります。

■Mac

• Mac OS 10.10.1/10.9.5/10.8.5/10.7.5/10.6.8 (2015年1月現在)

対応機種

【USB接続】

■Windows

- USB3.0インターフェイスポートを搭載したPC/AT互換機(USB3.0モード動作時)
- USB2.0インターフェイスポートを搭載したPC/AT互換機(USB2.0モード動作時)
- CPUクロック 2GHz/メインメモリ1GB以上

※intelチップセット搭載モデル推奨

■動作確認済みUSB3.0ホストインターフェイス

- | | |
|---------------------------------------|---|
| • Intel H87チップセット内蔵USB3.0ホストコントローラ | • Asmedia Asm 1042 USB3.0ホストコントローラ |
| • Intel Z77チップセット内蔵USB3.0ホストコントローラ | • RENESAS(NEC) μ PD72020x USB3.0ホストコントローラ |
| • ETron EJ168 USB3.0ホストコントローラ | • VLI VL800 USB3.0ホストコントローラ |
| • Frescollogic FL1100 USB3.0ホストコントローラ | |

※各ホストコントローラのドライバは最新のものをご使用ください。

■Mac

- USB3.0インターフェイスポートを搭載したIntel Mac
- USB2.0インターフェイスポートを搭載したIntel Mac

※Power PC搭載のMacは動作保証外になります。

※USB3.0での動作は、USB3.0インターフェイスが標準搭載されているモデルのみで動作を保証します。

USB3.0インターフェイスカード経由での動作は保証対象外となります。

【eSATA接続】

■Windows

- eSATAインターフェイスを備えたPC/AT互換機
(Mac)

- eSATAインターフェイスを備えたIntel Mac

【FireWire接続】

■Windows

- IEEE1394a(FireWire 400)または、IEEE1394b(FireWire 800)を搭載したPC/AT互換機

■Mac

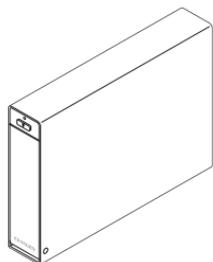
- 標準でFireWire 400またはFireWire 800を搭載しているIntel Mac

※FireWire 4ピン端子搭載PCに接続する場合は、別売のFireWire 4ピン-6ピンケーブルが必要になります。

製品内容

セット内容の確認

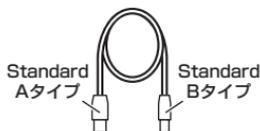
- CRIS35EUF6G 本体
- 専用スタンド
- 専用USB3.0ケーブル
- 専用FireWire800-800ケーブル
- 専用FireWire400-400ケーブル
- 専用eSATAケーブル
- 専用ACアダプター
- 専用ACケーブル
- 取扱説明書/保証書(本書)



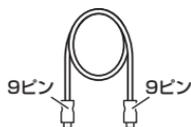
CRIS35EUF6G 本体



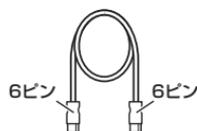
専用スタンド



専用USB3.0
ケーブル



専用FireWire800-800
ケーブル



専用FireWire400-400
ケーブル



専用eSATA
ケーブル



専用AC
アダプター



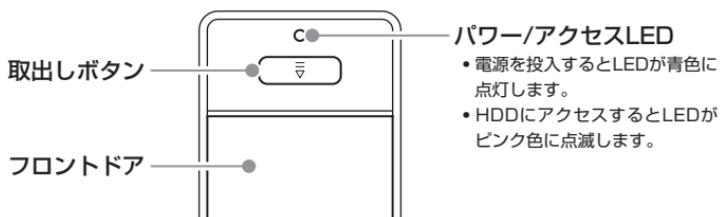
専用AC
ケーブル



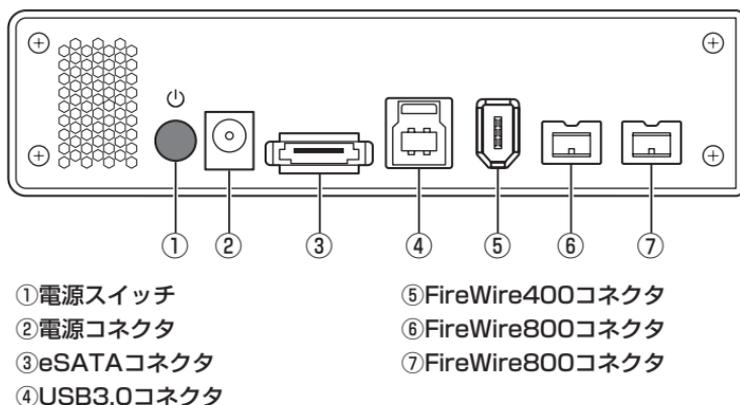
取扱説明書/
保証書

各部の名称

〈前面〉



〈背面〉



HDDの取り付け方法

HDD接続の前に

- HDDおよび本製品の基板部は精密機器ですので、衝撃には十分ご注意ください。
- HDD接続の際には、静電気に十分注意してください。
人体に滞留した静電気が精密機器を故障させる原因になることがあります。
作業の前に、金属のフレームなどに触れて放電するか、静電気防止バンドなどをお使いください。



注意

- すでにデータの入っているHDDを接続する場合は、接続時の不測の事態に備えてデータのバックアップを必ず行ってください。
- HDDの取り付け、取り外しを行う際にHDDに傷がつく場合がございます。HDDに傷がついたり、貼付してあるラベルやシールがはがれた場合、HDDメーカーの保証が受けられなくなる場合がございます。HDDの出し入れはゆっくりと静かに行い、必要以上に傷がつかないように慎重にお取扱ってください。

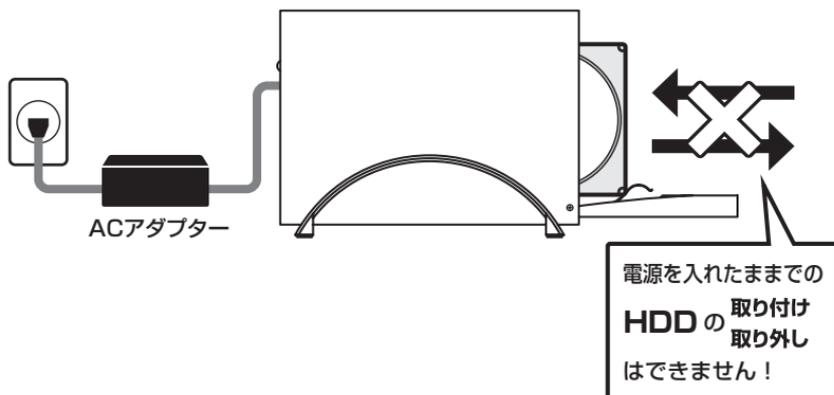


警告

接続および電源投入の順序にご注意ください！！

- 本製品はまずHDDを接続後、電源を投入して認識する仕様となっております。
- 本製品のみ接続、または電源投入後の抜き差し(ホットスワップ)には対応しておりません。

※上記のような接続および電源投入を行うと、データの破損や本製品または接続したHDDの故障をまねく可能性がございます。



HDDの取り付け方法

HDDの取り付け方

※本製品はシリアルATA(SATA)HDD専用です。パラレルATA(PATA)は接続できません。



注意

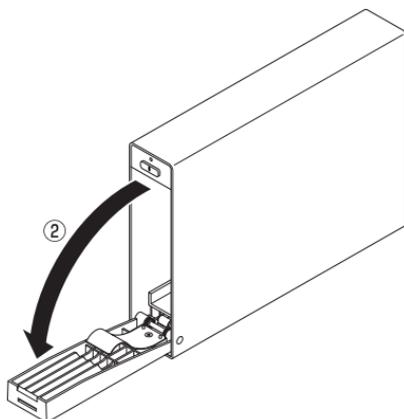
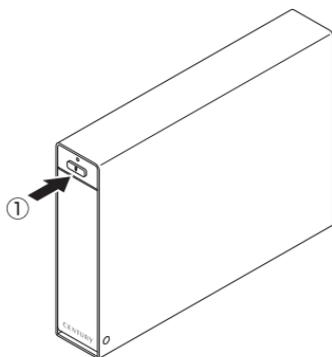


SATAコネクタ



PATAコネクタ

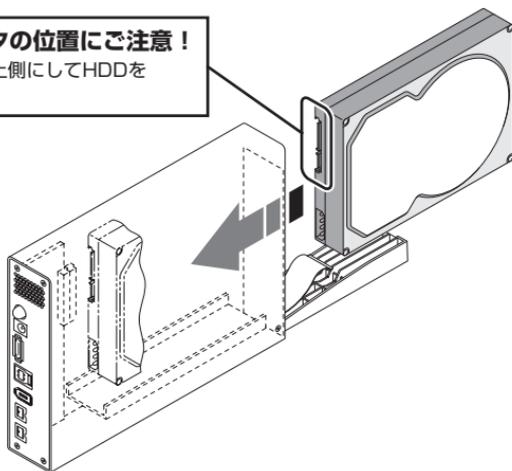
1. フロントドアの上部にある取出しボタンを押すと①、ドアが開きます②。



2. HDDを図の方向に差し込みます。

※SATAコネクタの位置にご注意！

SATAコネクタを上側にしてHDDを差し込みます。



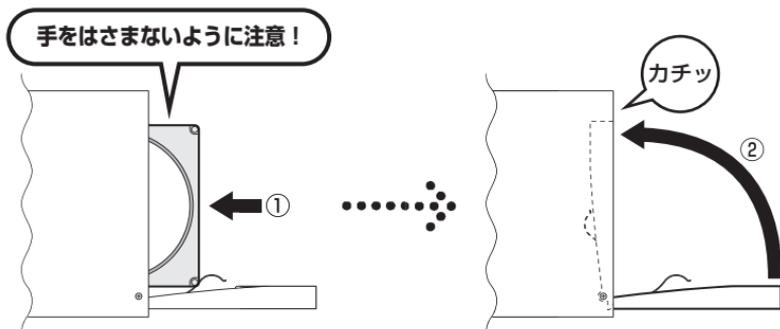
注意

HDDを装着する際には、HDDの向きとSATAコネクタの位置に注意してゆっくり差し込んでください。
ちからまかせに押し込むと破損や故障の原因となります。
また、本製品のフレームやHDDの基板面、コネクタ等で手を切らないよう十分ご注意ください。

HDDの取り付け方法

HDDの取り付け方

3. HDDを差し込んで奥に当たったら①、フロントドアを持ち上げて「カチッ」と音が鳴るまで押し込みます②。



注意

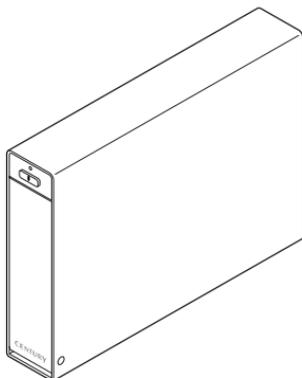
フロントドアが奥まで押し込めないときは無理に押し込まず、ドアを手前に戻し、再度ゆっくり押し込んでください。

また、本製品のフレームやHDDの基板面、コネクタ等で手を切らないよう十分ご注意ください。

4. 完成です。

新しいHDDを接続した場合そのままでは使用できませんので、お使いのOSに合わせて初期化の作業を行ってください。

- Windowsでお使いの場合
→巻末付録2【領域の確保とフォーマット】をご確認ください。
- Macでお使いの場合
→巻末付録10【Mac OS での使用方法】をご確認ください。



※HDDを取り出す際は、逆の手順をたどってください。

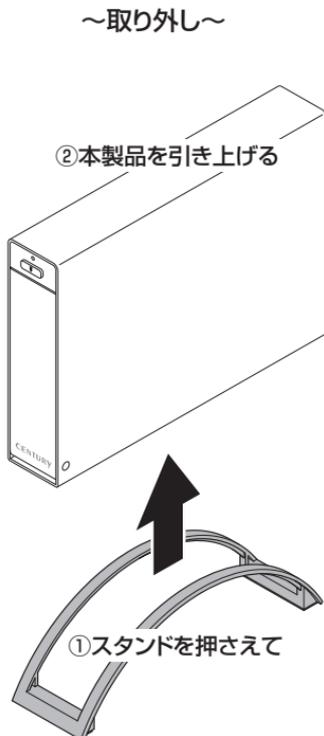
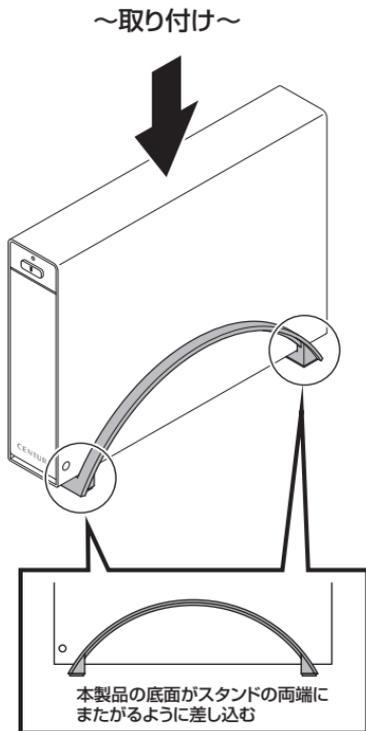
スタンドの取り付け・取り外し方法

■取り付け方法

スタンドを取り付ける際は、本製品の底面がスタンドの両端にまたがるように差し込みます。

■取り外し方法

スタンドを取り外す際は、スタンドを押さえて①、本製品を引き上げます②。



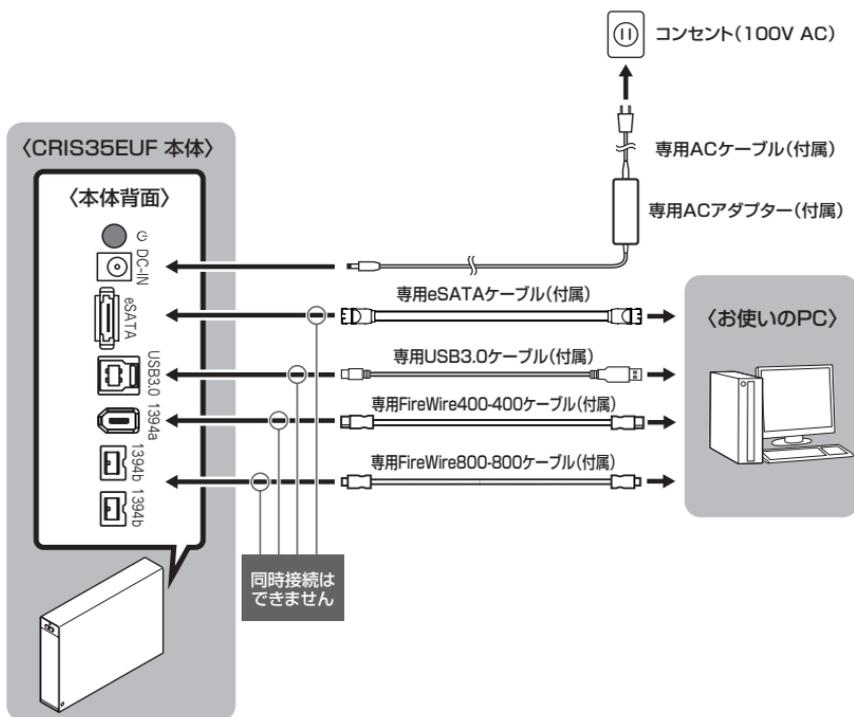
注意

本製品のフレームやスタンドの端部分で手を切ったり、手を挟まないように、十分ご注意ください。

PCとの接続方法

接続図

ACアダプターとUSB3.0ケーブル、FireWireケーブル、eSATAケーブルをそれぞれ接続すれば準備は完了です。



注意

- 各ケーブルを接続する前に、本製品の電源が「オフ」(P.27)になっていることを必ずご確認ください。
- それぞれのインターフェイスを接続する際は、ケーブルとコネクタの向きを必ず“**目視で確認して**”接続してください”。向きを間違えて接続すると、端子の破損およびHDDやPCに損害を与える可能性があります。

電源の投入方法

電源のオン・オフ

電源スイッチは押しボタン式です。突出した状態から1回押すと「オン」、もう1回押すと元に戻り「オフ」になります。

各ケーブルを接続する前には必ず「オフ」になっていることをご確認ください。



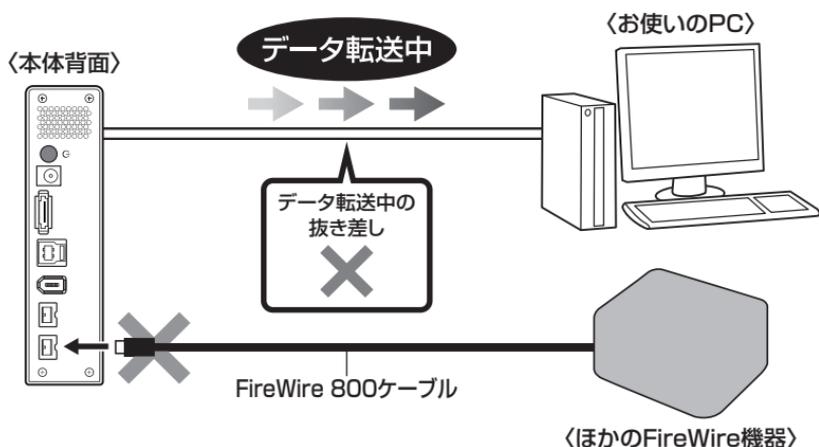
※電源オフ→電源オンを行うときは、電源をオフにしたあと5秒程度待ってから電源をオンにしてください。

FireWire機器をディジーチェーンする際のご注意

データ転送中のFireWire機器の取り扱いについて

本製品はリピーターハブを内蔵しておりますので、FireWire機器のディジーチェーンが可能ですが、機器の接続や取り外しを行う場合には注意が必要です。

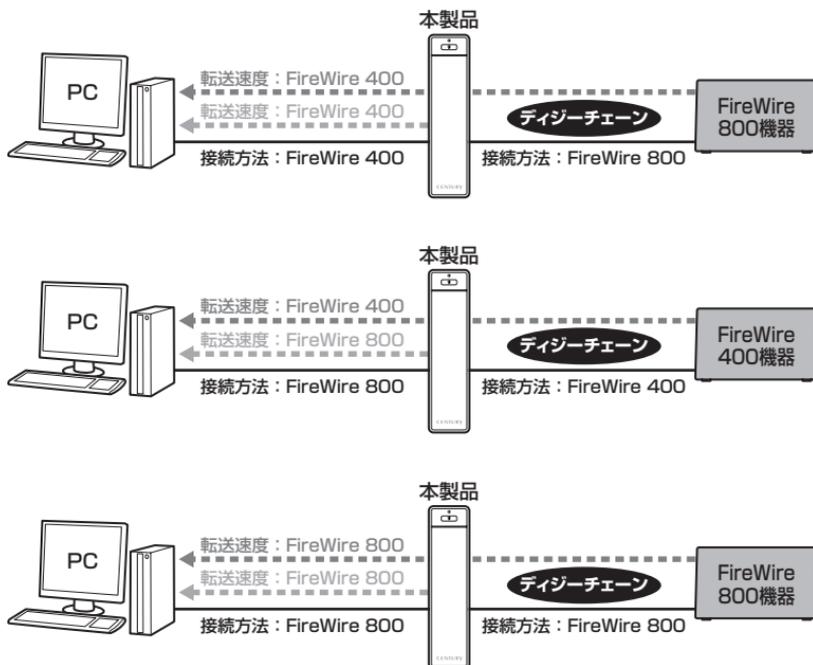
- リピーターハブ単独では動作しません。本製品のリピーターハブ機能を利用するには、本製品にHDDがセットされ、電源が入っていることが必要です。
- リピーター側へのバスパワーの出力はありませんので、バスパワーのみで動作する外付け小型HDD、各種変換アダプター、リピーターハブ等は動作しません。
- データの転送中にFireWire機器の抜き差しが発生すると、転送エラー等が発生する可能性があります。最悪の場合、HDDが破損するおそれがあります。データの転送中には、FireWire機器の抜き差しを行わないでください。



※図はイメージです。実際の使用の際は本製品にHDDがセットされ、電源が入っていないとディジーチェーンしたデバイスは認識されません。

ディジーチェーン時の転送速度について

ディジーチェーン時、それぞれの機器の転送速度は下図のようになります。



■ディジーチェーンのし過ぎにご注意！

FireWire機器をディジーチェーンし過ぎると、機器の認識が不安定になったり、転送速度が極端に遅くなる場合があります。

接続する機器にもよりますが、ディジーチェーンはホストから数えて最大3台程度に留めるようお願いします。

PC電源連動機能について

PCの電源をオフにすると、本製品に搭載したHDDの回転が停止します。
以降、PCの電源オン/オフに合わせてHDDが回転・停止するようになります。

※本機能を無効にすることはできません。あらかじめご了承ください。



※HDDの抜き差しを行う際は、PC電源連動機能でHDDの回転がオフになった状態ではなく、必ず**電源スイッチで電源を切ったオフの状態(パワー/アクセスLED消灯)**で行ってください。HDDの回転がオフになっただけでは、まだ電源はオンの状態ですので、この状態でHDDの抜き差しを行うと、データが消失、または破損する可能性があります。

※搭載したHDDの回転/停止をコントロールすることはできません。
あらかじめご了承ください。

TIPS

本機能はPCからの信号を感知してHDDの回転を制御するため、常時3W程度の電力を消費します。

長時間で使用されない場合は、本製品の電源をオフにしてください。

また、本製品のPC電源連動機能はお使いのPCによってはご使用できない場合がございます。

その際はPC電源連動機能を使用せず、手動で電源オン/オフを行ってください。

トラブルシューティング

主なトラブルの対処方法を説明いたします。

「故障かな?」と思われましたら、以下をお読みのうえ、記載されている対処方法をお試しください。

■認識されない。

以下の点をご確認ください。

- HDDが正常に差し込まれているか確認する。
- 各接続ケーブル、ACケーブル等を確認する。
- パワー/アクセスLEDが点灯しているか確認する。
- USB3.0/eSATAホストが正常に動作しているか確認する。
- eSATA I/F接続の場合、正しくドライバがインストールされて動作しているか確認する。

■パワー/アクセスLEDが点灯しても、HDDが回転している音がしない。

配線が正しく接続されているかご確認ください。

また、付属のケーブル以外を接続されると、故障や事故の原因となりますので、必ず付属のケーブルをご使用ください。

■スリープ、スタンバイ、休止状態から復帰するとフリーズする、アクセスできない。

本製品はWindows、Macともに、スリープ、スタンバイ、休止状態に対応しておりません。

スリープ、スタンバイする前に取り外しを行ってください。

■「CRIS35EUF6G」からOSが起動しない。

OS起動はサポートしておりません。

■新しいHDDをセットしたが、マイコンピュータ内(Windows)、デスクトップ(Mac)にHDDのアイコンが表示されない

新しいHDDは接続後、領域の確保とフォーマットの作業が必要となります。
【領域の確保とフォーマット】または【Macでの使用方法】を参照して初期化の作業を行ってください。

- Windowsでお使いの場合→巻末付録2【領域の確保とフォーマット】をご確認ください。
- Macでお使いの場合→巻末付録10【Mac OS での使用方法】をご確認ください。

■2TBを超えるRAIDボリュームを初期化しようとする2TBで分割されてしまう(Windows 8/Windows 7/Windows Vista)

MBR形式の場合、1パーティションの上限が2TBまでとなります。
GPT形式にて初期化することで2TB以上のパーティションを作成することが可能です。

■USB3.0接続時にUSB2.0として認識してしまう。

本製品の電源をオンにしたままUSBケーブルを接続すると、接続するタイミングによってUSB2.0機器として認識してしまう場合があります。
本製品の電源はオフの状態でご各ケーブルを接続し、主電源スイッチをオンにしてください。

■USB3.0接続時、接続してしばらく経つと認識されなくなってしまう。

ご使用のUSB3.0インターフェイス側のドライバによる不具合の可能性があります。
ご使用のUSB3.0インターフェイスのドライバのアップデート状況をご確認ください。

トラブルシューティング

■eSATA接続時のみ3TB以上の容量のHDDが認識できない。

または容量を誤認識してしまう。

ご使用のeSATAインターフェースが2TB超の容量に対応していない可能性があります。

ご使用のeSATAインターフェースの仕様やアップデート状況をご確認ください。

■eSATA接続時、Windows起動後に接続すると認識されない。

eSATAのホストアダプターの仕様やモード設定によっては、パソコンの起動時に本製品を接続しておかないと認識できない場合があります。お使いのeSATAホストアダプターの仕様をご確認ください。

また、マザーボードのeSATAポートを使用している場合、BIOS上でSATAの動作モードがIDE互換モードになっていると、Windows起動後の接続ができません。

この場合は〈AHCIモード〉に変更することで改善する可能性があります。

※システムの起動HDDと本製品が同じSATAホストに接続されている状態でモード変更を行うと、Windowsが起動しなくなる場合がありますのでご注意ください。

■eSATA接続だと認識するが、USB接続だとマイコンピュータにアイコンが表示されない(Windows)。

ダイナミックディスク形式でHDDを初期化していないかご確認ください。
USB接続の場合はスタンダード形式のみ使用可能です。

■WindowsでeSATA接続時、ハードウェアの取り外しに本製品のHDDが表示されない。

eSATA接続時のハードウェアの取り外しは、接続されたeSATA I/Fによって可能かどうか異なります。詳しくは、お使いのeSATA I/Fの製造元にお問い合わせください。

また、eSATA HDDの動作中の取り外しは、設定によってデータの破損等につながる場合がありますので、弊社ではおすすめしていません。

■30分以上経ってもHDDのフォーマットが完了しない(Windows)。

HDDのフォーマット時、「クイックフォーマット」を選択せず通常のフォーマットを選択すると、フォーマットに時間がかかります。

フォーマットを短時間で完了させたい場合は「クイックフォーマット」を選択してください。

詳しくは、巻末付録2【領域の確保とフォーマット】をご参照ください。

■ディジーチェーン接続時に速度が遅くなったり動作が不安定になってしまう。

ディジーチェーンの接続台数を減らす、またはディジーチェーンをやめて単独でのご使用をお試しください。

トラブルシューティング

■2TBのHDDを接続したのに容量が1.8TB程度になってしまう。

計算方法に違いはないか、ご確認ください。

ほとんどすべてのHDDドライブメーカーは、公称容量を

• **1MB = 1,000,000 バイト**

で計算した値で示しています。

それに対し、一般的には、

• **1KB = 1024 バイト**

• **1MB = 1024 × 1024 = 1,048,576 バイト**

• **1GB = 1024 × 1024 × 1024 = 1,073,741,824 バイト**

• **1TB = 1024 × 1024 × 1024 × 1024 = 1,099,511,627,776 バイト**

です。

たとえば2TBと表示されているドライブの場合、これを一般的なTBに換算してみると、

• **$2,000,000,000,000 \div 1,099,511,627,776 = \text{約 } 1.8\text{TB}$**

となり、200GB程度少なくなることがお分かりいただけると思います。

このような計算方法が(HDDドライブメーカーでは)一般的となっておりますので、ご理解をお願いいたします。

■S.M.A.R.T情報が表示されない。

S.M.A.R.Tを参照するソフトによって対応が大きく異なり、表示できるものとできないものがあるようです。

弊社では表示に対応しているツールの提供はございません。

Q. 使用できるHDDの最大容量は？

- A. 本製品をPCに接続して使用する場合、最大で6TB(テラバイト)までとなります。

Q. どんな形式のHDDが接続可能ですか？

- A. 3.5インチサイズのシリアルATA(SATA)HDDが接続可能です。
パラレルATA(IDE)のHDDは接続できません。

Q. カードリーダーのようにHDDを抜き差しして使うことは可能ですか？

- A. 残念ながらできません。
本製品はHDDアダプターですので、電源を切ったうえで抜き差しをする必要があります。電源を入れた状態でHDDを抜き差しすると、正常に認識しないばかりか、本製品ならびにHDDを故障させる可能性があります。

Q. 着脱可能回数は何回ですか？

- A. 本製品に装備されているコネクタの耐久性は約10,000回となっております。HDD側にもそれぞれ同様の耐久性が設定されておりますので、くわしい着脱可能回数はHDDの製造メーカーにお問い合わせください。

Q. 他の機器で使用していたデータの入ったHDDを入れて、そのままデータにアクセスできますか？

- A. 基本的には使用可能ですが、以前ご使用いただいていた環境によってはご使用になれない場合があります。ご使用になれない場合は、フォーマットを行う必要があります。
不慮の事故によるデータの消失を避けるためにも、データが入ったHDDを接続する場合は必ずバックアップをとってからの作業をお願いいたします。

Q. eSATA、USB、FireWireをそれぞれ別のPCに接続して同時に使用することは可能ですか？

A. 残念ながらできません。

Q. Windows ServerやLinuxで動作しますか？

A. サポート対象のOSとしては、

●Windows 8(8.1)/Windows 7/Windows Vista

●Mac OS 10.10.1/10.9.5/10.8.5/10.7.5/10.6.8

を対応OSとしています。

それ以外でのOSに関しては動作確認を行っておらず、サポート外、自己責任での範囲となります。ドライバの提供や操作方法等をご案内できかねます。

Q. OSの起動は可能ですか？

A. eSATA接続でかつ、ホストがeSATA起動可能である場合のみ使用できます。

ただし、すべての環境でのOS起動を保証するものではありません。

※USB接続でのOS起動はサポート対象外とさせていただきます。

あらかじめご了承ください。

Q. PC電源連動機能を無効にすることはできますか？

A. 本製品のPC電源連動機能を無効にすることはできません。

あらかじめご了承ください。

Q. HDDにアクセスしていないのに、パワー/アクセスLEDが点滅します。故障ですか？

A. ウイルススキャンや各ソフトのアップデートチェック、インデックス作成等、OSのバックグラウンド処理で本製品のHDDにアクセスする場合があります。

Q. 横置きでの使用は可能ですか？

A. 本製品は『縦置き専用』です。横置きでの使用は推奨いたしません。

Q. FireWire接続時、FireWireデバイスのディジーチェーンは可能ですか？

A. 可能です。

FireWire 400ポート、FireWire 800ポートどちらからもディジーチェーンできます。

P.28【FireWire機器をディジーチェーンする際のご注意】をご参照の上、ディジーチェーンを行ってください。

※バスパワーの出力はありませんのでバスパワーのみで動作する外付け小型HDD、各種変換アダプター、リピーターハブ等は動作しません。あらかじめご注意ください。

また、本製品にHDDがセットされ、電源が入っていないとディジーチェーンしたデバイスは認識されません。

新しいHDDをお使いの場合は こちらをお読みください

- 領域の確保とフォーマット……………巻末付録2
- ハードウェアの取り外し手順……………巻末付録8
- Mac OS での使用方法 ……………巻末付録10

！ご注意ください！

- 領域の確保とフォーマットを行うと、HDDを初期化してPCで認識される状態に構成されます。
- 以前、別のPC等でご使用になっていたHDDをご使用の場合、次ページからの作業を行うと、HDD内のすべてのデータが消えてしまいますのでご注意ください。
- 通常、データが入っているHDDを接続した場合であれば、次ページからの作業は行わずに認識、データにアクセスが可能となります。

領域の確保とフォーマット

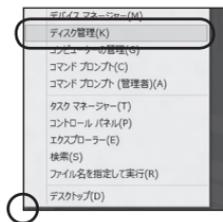
注意：この説明では、HDDにパーティションを分割しない設定で領域を確保する操作を説明しています。

細かく分割する操作に関しては、Windowsのヘルプや参考書を参考にしてください。



この手順どおりに処理を行うと、HDDのフォーマットを行ってHDD内に入っているデータを消去します。
消したくないデータが入っている場合は、領域の確保とフォーマット処理は行わないようにしてください。

1.



Windows 8

画面左下を**右クリック**し、「ディスク管理」を開きます。

その後は【手順.3】にお進みください。

Windows 7

【スタート】→【コントロールパネル】→【表示方法：小さいアイコン*】→【管理ツール】を開きます。

*コントロールパネルを開いても、【小さいアイコン】または【クラシック表示】にしないと管理ツールが表示されませんのでご注意ください。

Windows Vista

【スタート】→【コントロールパネル】→【クラシック表示*】→【管理ツール】を開きます。

*コントロールパネルを開いても、【小さいアイコン】または【クラシック表示】にしないと管理ツールが表示されませんのでご注意ください。

2.



【管理ツール】の中の【コンピュータの管理】を開きます。

※このとき【ユーザーアカウント制御】ウィンドウが表示されます。

【続行】をクリックしてください。

続行できない場合はユーザーに管理者としての権限がありません。システムの管理者にご相談ください。

3.



【コンピュータの管理】の【ディスクの管理】を選択すると、接続したディスクが【初期化されていません】と表示されています。

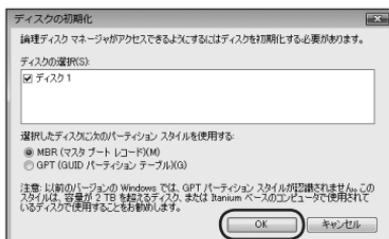
そこを右クリックして表示されるポップアップメニューから【ディスクの初期化】を選択します。

ディスクの初期化(I)

プロパティ(P)

ヘルプ(H)

4.



【ディスクの初期化】ウィンドウが表示されます。

先ほど選択したディスクで間違いがないかを確認して【OK】をクリックします。

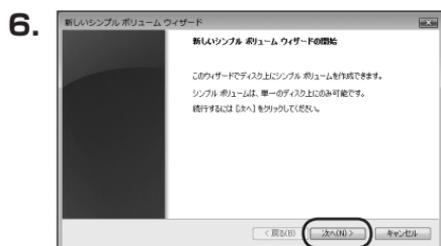
領域の確保とフォーマット



【ディスクの初期化】が完了すると、ディスクの状態が【オンライン】に変わります。

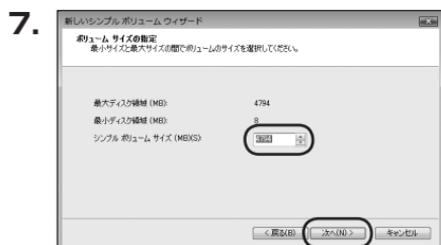
この状態ではまだ使用できませんので、ボリュームを作成してフォーマットする必要があります。

ディスク名の表示の右側の、容量が表示されているところを【右クリック】するとポップアップメニューが表示されますので、【新しいシンプルボリューム】を選択します。



【新しいシンプルボリュームウィザード】が表示されます。

設定する箇所はありませんので【次へ】をクリックします。



【ボリュームサイズの指定】が表示されます。

MB(メガバイト)単位でボリュームサイズを指定します。

ここで指定したサイズがパーティションサイズとなりますので、任意の数値を指定してください。

特に指定しなければ最大容量で設定されます。

設定したら【次へ】をクリックします。

8.



【ドライブ文字またはパスの割り当て】
ウィンドウが表示されます。

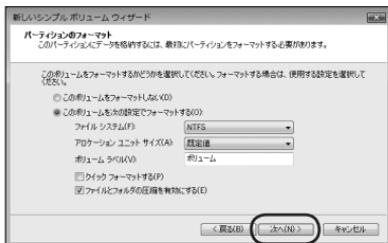
ドライブ文字はマイコンピュータや
エクスプローラで割り当てられる
ドライブのアルファベットです。

通常、Cが起動ドライブで以降アル
ファベット順に割り当てられます。
特に指定がなければ空いている割り
当て番号のいちばん若いアルファ
ベットが割り当てられます。

【次の空のNTFSフォルダにマウント
する】と【ドライブ文字またはドライブ
パスを割り当てない】は通常使いま
せんので選択しないでください。
こちらの機能を選択する場合は、
Windowsの説明書、ヘルプ、参考書
籍等をご参照ください。

領域の確保とフォーマット

9.



【パーティションのフォーマット】ウィンドウが表示されます。

● ファイルシステム

NTFSを選択します。他のファイルシステムは使用しないでください。

● アロケーションユニットサイズ

パーティションのアロケーションユニットサイズを指定します。

特に使用するアプリケーション等の指定がない限り、規定値を選択します。

● ボリュームラベル

マイコンピュータ等から表示されるボリュームラベルを設定します。

● クイックフォーマットする

このチェックボックスを有効にすると、フォーマットする際にクイックフォーマットでフォーマットを行います。

通常のフォーマットと違い、ディスクの全領域をベリファイしませんので、時間がかからない代わりに、不良セクタ等の代替も行われません。

お使いのディスクの状態に合わせて選択してください。

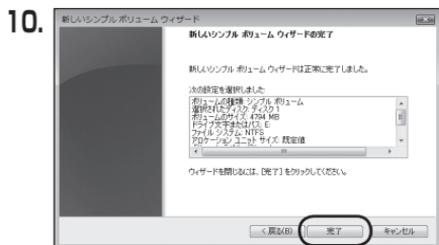
● ファイルとフォルダの圧縮を有効にする

このチェックボックスを有効にすると、ファイルとフォルダの圧縮が有効になります。

通常よりも大きな容量を使用できるようになりますが、パフォーマンスの面では圧縮されていない状態よりも劣ります。

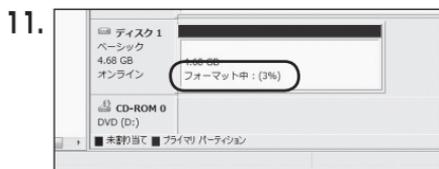
一部のアプリケーションではこの設定が推奨されていないこともありますのでご注意ください。

設定が終わりましたら、【次へ】をクリックします。



【新しいシンプルボリュームウィザードの完了】ウィンドウが表示されます。

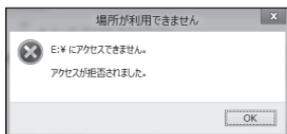
テキストボックスの設定を確認して【完了】をクリックするとフォーマットが開始されます。



これでフォーマットの作業は完了です。

ディスクの管理の容量表示ウィンドウには、フォーマット完了までの進行状況が表示されます。

フォーマットが完了すると、マイコンピュータにディスクが表示され、使用可能になります。



- フォーマット中にディスクにアクセスしようとする警告が表示されますが故障ではありません。
- フォーマット中は、PC、本製品の電源を切ったり、ケーブルを取り外したり、Windowsを終了しないでください。故障の原因となります。

ハードウェアの取り外し手順

本製品はUSB接続時、PC起動中にハードウェアの取り外しが可能です。

※製品の中に組み込んだHDDを取り外す際は、ハードウェアの取り外し処理をしたうえで、必ず製品の電源をオフにしてから行ってください。

※画面はWindows 8のものになります。他のOSでは画面が異なりますが、操作方法は同一となります。

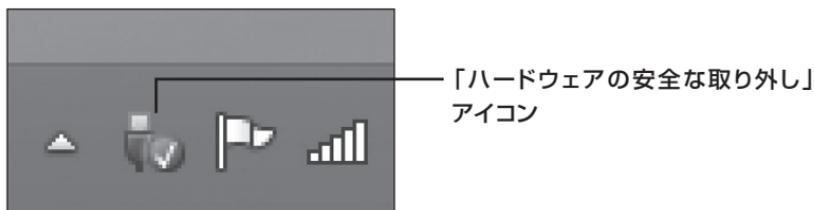
1. 「コンピュータ」等で取り外しを行うデバイスのドライブレターを確認します。

例：ドライブ(F:)を取り外す場合

名前	種類
▲ ハードディスクドライブ (3)	
ローカル ディスク (C:)	ローカル ディスク
ボリューム (D:)	ローカル ディスク
ボリューム (E:)	ローカル ディスク
▲ リムーバブル記憶域があるデバイス (1)	
CENTURY (F:)	リムーバブル ディスク

ドライブレター

2. タスクトレイの「ハードウェアの安全な取り外し」アイコンをクリックします。

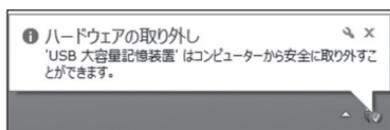


3. 手順1で確認したドライブレターをのドライブをクリックします。



※装置の名称は、お買い上げの製品によって異なります。

4. 取り外し完了のメッセージが表示されたことを確認し、PCまたは本製品からケーブルを取り外してください。



Mac OS での使用方法

本項では、Mac OSに新しいHDDを接続した際のフォーマット方法を説明します。



安全なフォーマットのために、すでに接続して使用しているHDDがある場合は、あらかじめ取り外しを行い、新しいHDDのみを接続してください。



アプリケーション>ディスクユーティリティを起動します。
起動すると、左側にフォーマット可能ディスクの一覧が表示されますので、新しく接続したHDDと容量が一致するものを選択してください。

※他のHDDが表示されている場合は、ディスクユーティリティを一旦終了し、取り外し処理を行ってからもう一度ディスクユーティリティを起動してください。



接続されているディスクの情報が表示されます。

3.



上の「パーティション」タブをクリックします。

パーティション設定が変更できます。

- **ボリューム情報**：ボリューム情報は「ボリューム方式」で選択されたボリューム情報を変更します。
「ボリュームの方式」で別のパーティションを選択すると、パーティションごとに設定を変更することが可能です。
- **名前**：作成するボリューム名を変更できます。
変更しないと「名称未設定」という名前が付けられます。
- **フォーマット**：作成するボリュームのフォーマットを選択します。
Mac OS標準、Mac OS拡張、UNIXファイルシステム、空き容量が作成できます。
通常は Mac OS標準 か Mac OS拡張 を選択してください。
- **サイズ**：作成するボリュームのサイズを変更できます。
- **オプション**：Mac OS 9ディスクドライバをインストールチェックをすると、Mac OS 9で動作するドライバをインストールします。
- **分割**：選択されているボリュームを同じ容量で分割します。
- **削除**：選択されているボリュームを削除します。
- **元に戻す**：直前の変更を元に戻します。

Mac OSでの使用方法

4.



すべて決定したら右下の「OK」をクリックします。
警告が表示されます。

作成する場合は「パーティション」を、
キャンセルする場合は「キャンセル」
をクリックします。

5.



フォーマットが完了すると、デスク
トップにHDDアイコンが表示され
ます。

取り外しをする場合は、このアイコン
をDockの中のごみ箱にドロップ
します。

サポートのご案内

【販売・サポート】

株式会社 センチュリー



CENTURY

■サポートセンター

〒277-0872 千葉県柏市十^{とよふたおきなほら}余二翁原240-9

【TEL】04-7142-7533

(平日 午前10時～午後5時まで)

【FAX】04-7142-7285

【Web】<http://www.century.co.jp>

【Mail】support@century.co.jp

～お願い～

修理をご依頼の場合、必ず事前にサポートセンターにて受付を行ってから
発送をお願いいたします。

アンケートにご協力をお願いします

センチュリー商品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。
今後の商品開発などの参考にさせていただきますので、下記URLにてアンケートの入力を
お願いいたします。
どうぞよろしくお願いいたします。

～弊社商品につきましてはのアンケート～

【URL】<http://www.century.co.jp/que.html>



— 本書に関するご注意 —

1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
2. 本書の内容については、将来予告なく変更することがあります。
3. 本書の内容については万全を期して作成いたしました。が、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなど、お気づきの点がございましたらご連絡ください。
4. 運用した結果の影響については、【3.】項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
5. 本製品がお客様により不適當に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはセンチリーおよびセンチリー指定のもの以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

※記載の各会社名・製品名は各社の商標または登録商標です。

※This product version is for internal Japanese distribution only.

It comes with drivers and manuals in Japanese.

This version of our product will not work with other languages operating system and we provide help support desk in Japanese only.